

第六十九回 卒業証書授与式

式 辞

ただ今、110名の皆さんに卒業証書を授与いたしました。一人一人の顔に、大阪市立野田中学校の卒業生として、喜びの晴れやかさとともに、新たな人生への旅立ちの決意が感じられ、大変うれしく思っています。

確かな春の訪れを感じ取れる今日この佳き日に、平成二十八年度第六十九回卒業証書授与式を挙げるにあたりまして、日頃より本校の教育活動にご理解とご支援をいただいております地域のご来賓の皆様には、ご多用にもかかわらず

わらず、ご臨席をたまわりました。

高いところからではございますが、心より厚く御礼もうしあげます 【誠に有り難うございます】

そして、保護者の皆さま、お子さまのご卒業、心よりお祝い申しあげます。3年前の入学式の

時とは、心も身体も見違えるばかりに成長したお子さまの姿を前に、慶びもひとしおのことと拝察いたします。この3年間、本校教育へのご理解とご支援を賜り心より感謝申しあげます。有り難うございました。

さて、卒業生のみなさん、改めてご卒業おめでとうございます。先ほど、卒業証書を授与する際に、「おめでとう」の言葉とともに「ありがとう」との感謝の気持ちをこめました。校長として皆さんと過ごしたこの2年間は、本当に幸せな

月日でした。

担任の先生方による教育方針の下、「次になすべき行動を自分たちで考える」ことができて、オンとオフの切り替えが実にすばらしかったと思います。信州の修学旅行では、ラフティングやバー

ベキューを思い切り楽しむ一方で、夜の就寝、集合、片づけにおいて時間とルールをきちんと守り、宿泊先のご主人を驚かせていました。体育大会や文化発表会における合唱コンクールでは、仲間への応援、パフォーマンスを高めるための工夫が随

所に見られ、後輩たちに強いインパクトを与えることで最上級生としての役割を十分にこなしてくれました。さらに、2年生の時に、区役所や企業の方々からの協力を得て学校として初めて取り組んだ「課題解決学習」では、チャレンジ精神と

茶目つ気を存分に発揮して成功に導いてくれました。この学習を通して、「一人でするよりも人と協力することでもっと素晴らしいものができると」「勇気をもつて一歩前に踏み出せば、マイナスの環境もプラスに変えることができる」など、

色々なことに気づくことができたのではないでしようか。これからの学生生活、社会においてきつと役立つことだと確信しています。この「課題解決学習」は、今年度も3日前に最終プレゼンテーションが行われ、今、後ろに座っている2年生たちが、立派に君たちのチャレンジ精神を引き継いでくれました。

このように様々な学校活動を通して、「学校への愛、クラス仲間への愛」をしつかりと伝えてくれる、そんな学年であつたと思います。その君たちが、

最後に力を合わせる活動として、卒業生の歌を
後ほど披露してくれます。自分たちで最後に歌
いたいと選んだ、アンジェラ・アキさんの「手紙く拝
啓十五の君へ」の歌詞の中に、「keep on

believing」というフレーズが繰り返されます。言

葉の最後に「ing」をつけたのは、たどりついてもそ
の先があるし、たどりつけなくても終わりじやな
い、くし続けることが大切との想いがこめられて
いるようです。「自分の心の声を信じて歩き続け
れば必ず進むべき道が見えてくる」、仲間と最後
に声を合わせるこの歌に込められた作者の想い
をいつまでも忘れないでください。

さて、君たちは3年後には選挙権を得ることと
ともに社会へ飛び立つ人も出てくるでしょう。学
校での集会の機会には何度か話してきたことで

すが、今、世の中は著しく早いスピードで変革しています。その動きの中で確実に言えることは、人工知能の進化によるロボットの活躍、そして地球規模で進むグローバル化の2点だと思います。そこで人間に求められることは、従来とは大きく

変わってきています。コンピューターを操るスキルでしょうか？ 英語の資格や外国に関する知識でしょうか？ 確かに、これらのスキル、資格や知識は必要でしょう。しかし、何が最も重要かと言えば、君たちがこの野田中学校で学び経験し

てきたことです。人とつながることの大切さは、十分に理解しているはずです。そして、何をすべきか自ら考え行動する姿勢、ともにより良い社会、環境を創り出そうする意欲です。ロボットが集まって人間の代わりに意見を述べ話し合いをして

いる、そんな光景は想像したくありません。

ここで、皆さんに紹介したい歌があります。五十年以上も前の歌ですが、昨年、「ゆず」が少し歌詞を加えて歌っていたので耳にしていることでしよう。「見上げてごらん 夜の星を」です。

見上げてごらん夜の星を 小さな星の小さな
光がささやかな幸せをうたっている

見上げてごらん夜の星を 僕らのように名も
ない星がささやかな幸せを祈っている

手をつなごう僕と 追いかけよう夢
二人なら苦しくないさ

(と続きます)

これからの長い道において悩んだり、くじけたりすることは、多々あると思います。

そんな時に下を向いてばかりいるのではなく、顔をあげて夜の星を見上げてください。無数の星が君たちを暖かく見守っていて、その星の一つがこの野田中であることに気づいてほしいと思います。そして中学校時代を思い出して、あの頃あったことを考えたり頑張っていたな、久しぶりに同級生や先生の声を聞いてみたいと思ってくれたらと願っています。この3年間ともに頑張った仲間、お世話になった先生方はいつまでも君たちの応援団です。

今、私には一つの夢があります。日本の、また世界のどこかで、君たちが人のために、社会のために全力で頑張っていることをいつか耳にすることです。どうぞ、この野田中学校での3年間で学び経験したことを糧にして、前に向かって歩み

続けてください。君たちの前途に開ける「未来」に、期待と想いを馳せながら、式辞いたします。そして、最後にもう一度

「卒業おめでとう」　そして　「ありがとう」

平成二十九年三月十四日

大阪市立野田中学校

校長　森川　和彦